

臨床研究に関する情報公開

研究課題名：慢性維持透析患者におけるがん診療に関する多施設共同観察研究

研究期間：2014年9月（倫理委員会承認後）から1年間

背景と目的：近年、透析がん患者さんは増加しています。一般的に、がんに対しては種々の治療法が確立され、治療成績が向上しています。特に薬物療法については、新規抗がん薬や分子標的薬の開発に伴い、様々ながんにおいて生存期間の延長が証明されています。しかし、透析患者さんの場合、どんながんが多くどのような治療が選択されているかはわかっていません。また、薬物治療に関しても、透析患者さんに対する薬の適切な量や、副作用の起こる頻度、治療効果について検討された研究はありません。本研究は以上の点を明らかにすることを目的としています。具体的には、2010年から2012年の3年間に当院でがん治療を受けたことのある透析患者さんの「がんの種類」「治療内容」「治療効果」「使用された薬剤による有害な事象」などを調べ、今後の透析患者さんのがん治療の方針をより明確にするのがこの研究の目的です。

方法：患者さんの登録にあたっては、匿名化といって個人名を消去し、代わりに番号を付与する処理を行うことで個人が同定できないようにして統計解析を行います。2010年から2012年の3年間に当院でがん治療を受けたことのある透析患者さんの「がんの種類」、さらに、頻度の高い肺・胃・大腸・肝臓・乳房・膵臓・腎臓・膀胱がんの8種類については「治療内容」「治療効果」「有害事象」についてカルテから情報を収集します。この調査は過去のカルテを参照しておこなわれるので、患者さんに調査による不利益や費用負担が発生することはありません。また、患者さんの病理材料や生検材料、血液材料は用いず、検査結果とカルテに記載された情報を用います。この研究は京都大学医学部附属病院腎臓内科が主体となり、当院を含む15施設と共同でおこないます。この結果は腎臓病やがん治療に関する学会や医学雑誌に公表されることがあります。

研究に組み入れられることを希望されない方は下記にお知らせください。その場合、データ収集や統計処理はいたしませんし、それにより診療上の不利益を受けることもありません。また、研究内容について自由に質問をすることができます。

問い合わせ先：

研究責任医師 京都市立病院 腎臓内科 家原典之

研究分担医師 京都市立病院 腎臓内科 富田真弓

京都市立病院 消化器内科 桐島寿彦

〒604-8825 京都市中京区壬生東高田町1の2

電話 075-311-5311 FAX075-321-6025